

執行役員メッセージ

当社株主ならびにステークホルダーの
皆様へ

皆様には平素より私どもADCグループへのご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。私は昨年10月に執行役員に就任し、12月には当社現代表取締役社長のアンセムウォンがこれまで努めていた副社長の重責を引き継がせていただくこととなりました。これまで以上に、より一層の努力を重ね、ADCグループの発展に貢献していけるようベストを尽くしていく所存であります。

私は2017年に当社に参画するまでの間、商社での「商い」の道で20年にわたり日本、アジア各国、ヨーロッパを舞台とする事業運営に従事してまいりました。その中で、特に中国、アジアを中心とする海外パートナーとのアライアンス構築は、私の最も得意とする分野で、当社の筆頭株主である香港サンフンカイグループやその他、中国、アジア各地のビジネスパートナーとの適切かつスピード感のある協業実施は、私に課せられた最も重要な当社グループ内での役割であると認識しております。また、これらの円滑な実施が代表のアンセムウォンが掲げる当社の「挑戦」に大きく貢献できるものと考えています。

次は実行力です。これも当社の今のステージで非常に大切かつ根幹となる要素と考えています。代表のアンセムウォンの元、グループメンバーが一丸となり、がむしゃらに、ストイックに、チームワークをもって前に進んでいくことが重要となり、その中で私は当社グループの「番頭」役として、これらを指揮し、やりきっていきたくと強く思っております。社が掲げた目標に対し、一歩一歩確実に、それらに向け前に進んでいくというプロセスを、グループ全てのメンバーと共に体感、共有し、それらの目標達成時の高揚感を共に感じていきたいと考えております。

もちろん当社グループの各事業分野において、当該諸法令、諸規則を遵守し、正々堂々とした挑戦をしていくという基本も忘れはしません。「愚直」と「信頼」が最後に勝つという私自身の基礎理念も変えることはありません。

私は確信しております。私どもADCグループが、長かったトンネルをくぐり抜けるその瞬間を創出していけることを。そしてその瞬間は決して遠い未来ではなく、私どもが掴み取れるすぐ目の前にまできていることをしっかりと認識しております。

2021年3月10日
執行役員副社長
小杉 裕

皆様には平素より私どもADCグループへのご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。2020年12月に執行役員に任命されて以降、当社グループ全体の業務執行の責任者として、スピーディに確実に業務を遂行していけるよう、社内統制の再構築を実践しております。経営陣の刷新を行なった今、当社にとって最も重要なのは、社員一人ひとりの生産性を高め、少数精鋭体制下で効率良く挑み続けられるチームワーク力です。

その為にも社内の意識改革が必要だと考えております。会社のビジョンとその背景を社内で共有し、各々が中長期的視点を持つ体制作りを行うことで、社員全員のエンゲージメントを高めます。この意識改革の施策が、当社の経営戦略と確実に連動すると確信しております。

私は、当社の社員全員が一枚岩になることで、どんなに困難で煩雑な課題が目の前に現れても、社が掲げる目標に向かい前進を続け、そしてそれらを達成していけるものと信じております。

執行役員として「実践」、「遂行」することに責任を持ち、当社代表取締役社長アンセム ウォンの発信するコミットメントを果たしていくために、邁進したい所存です。さらに、適時・適切な情報開示を図れるように努めます。株主ならびにステークホルダーの皆様からの信頼と期待に応えることで、当社の持続的成長につなげていきたいと考えています。

2021年3月10日

執行役員

山内 沙織